

和歌山県庁文化国際課メールマガジン★NO.17★

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃、みなさまいかがお過ごしでしょうか。
あちこちで美しく色づいた梅の実を見かけ、香りを楽しんでいます。
今回、中国・山東省派遣中の梶本職員による『異文化体験記』では、
現地の方々と梅を通じた交流をご紹介します。
今回も和歌山県の国際交流に関する話題が盛りだくさんです。どうぞご覧下さい。



■ 文化国際課 だより ■

在外和歌山県人会周年式典～メキシコ・米国・カナダ訪問～

(1) 在メキシコ和歌山県人会創立30周年記念式典

仁坂知事をはじめとする訪問団（県議会議員、県国際交流協会）は、4月22日、在メキシコ和歌山県人会創立30周年記念式典に出席しました。式典には、和歌山県出身者及びその子弟、山田駐メキシコ日本国大使、現地日系団体幹部、現地政府関係者ら約120名が出席。式典中、仁坂知事は和歌山県出身の80歳以上の長寿者に表彰状を贈呈するとともに、本県出身者に対して激励を行いました。

式典に続いて開催された祝賀会では、特に4世・5世が「わかぱんダンス」を披露し会場から大きな拍手が起こり大変な盛り上がりを見せました。和歌山のルーツが着実に次世代に受け継がれていることを改めて実感することができた瞬間だったのではないのでしょうか。式典の最後には参加者全員で串本節を踊るなど故郷和歌山に思いを馳せる式典となりました。

式典のプログラムとして『メキシコにおける移民の歴史及び和歌山県人の歩み』に関するプレゼンテーションが行われ、参加者は改めて和歌山とメキシコとの深い関係に感銘を受けました。



【メキシコの楽団：マリアッチによる演奏】



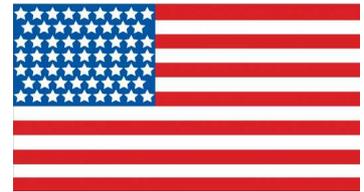
【長寿者表彰】

また、式典前には日墨会館内の先没者慰霊碑を参拝し、献花を行い先没者に対して敬意を表するとともに慰霊を行いました。同慰霊碑は昨年7月に安倍総理が参拝するなど多くの要人が参拝し献花を行っておりメキシコにおける日本人の心の拠り所となっています。

【(2) シアトル紀州クラブ創立110周年記念式典】

翌23日、仁坂知事をはじめとする訪問団は、県内企業とともにシアトルを訪れ、シアトル紀州クラブ110周年記念式典に出席、県人会員等約50人から歓迎を受けました。知事は80歳以上の長寿者9名に表彰状を贈呈するとともに、和歌山県との交流に貢献した功労者5名に感謝状を贈呈し、本県出身者への激励を行いました。

式典会場には和歌山の観光写真パネルが飾られ、また会場の一角では同行した県内企業によりブースが設置され、オレンジジュース、梅酒、梅干し、醤油などの県産品が振る舞われ、本県出身者は和歌山の雰囲気を楽しみながら故郷を懐かしんでいました。



【式典会場】



【知事挨拶】

【*シアトル・サクラ祭り】

24日に訪問団は、現地日系社会最大の祭りである、『サクラ祭り・日本文化祭』の会場を佐々木豊サクラ祭り実行委員の案内で見学しました。会場には、日系人が作成した切り絵、生け花、書道などの作品が展示され、シアトルの日系人が日本文化を引き継ぎながら日米文化の相互理解に寄与していることを知る機会となりました。

開会式で仁坂知事は和歌山の観光地や食品を紹介するプレゼンテーションを行い、日系人が先の大戦で日本と米国という二つの祖国の中で、幾多の苦難を乗り越えて信頼を得、そのような日系人、和歌山県人の存在が日本に対する声価を高めていると述べました。また、シアトルに本拠を置くボーイング社の787型機の機体素材に県内企業の製品が使用されていることなど、和歌山とシアトルの繋がりを紹介しました。





【プレゼンテーションの様子】



【県 PR ブース】

（3）ブリティッシュ・コロンビア州（以下 B. C. 州）和歌山県人会創立 50 周年

25 日、訪問団は、B. C. 州和歌山県人会創立 50 周年記念式典に出席しました。式典には、和歌山県出身者及びその子弟、岡田在バンクーバー日本国総領事はじめ現地日系団体幹部、現地政府関係者ら約 150 名が出席しました。



式典中、知事は和歌山県出身者で 80 歳以上の長寿者 146 名に、また和歌山県との交流に貢献した功労者 27 名の代表に対して感謝状を贈呈するとともに、本県出身者に対してこれまでの労をねぎらいました。

祝賀会では、本県出身者らと訪問団との交流が行われ、会食中に上映された県人会の歩みの映像に参加者一同は改めて和歌山県と B. C. 州との繋がりの深さを再認識することができ、また、式典にはリッチモンド市長や市議員をはじめ多くの団体関係者が出席していたことから、B. C. 州和歌山県人会の社会貢献が着実に実を結び評価されていることを知ることができました。



【長寿者表彰】



【式典の様子】

また、日系移民の歴史を展示する博物館、日本語学校、敬老ホームが併設されている日系センターを訪問し、公開されたばかりの映画『バンクーバーの朝日』に係る展示を含む日系移民の歴史について説明を受けるとともに、和歌山県出身者が校長を務める日本語学校を視察しました。また隣接の日系敬老ホームを往訪し、入所者と交歓しました。

このように、在外県人会の皆さんのご苦勞とともにご活躍を知ることは、現在の私たちにとって改めて大変意義のあることだと感じました。

クイズ! 海外豆知識!

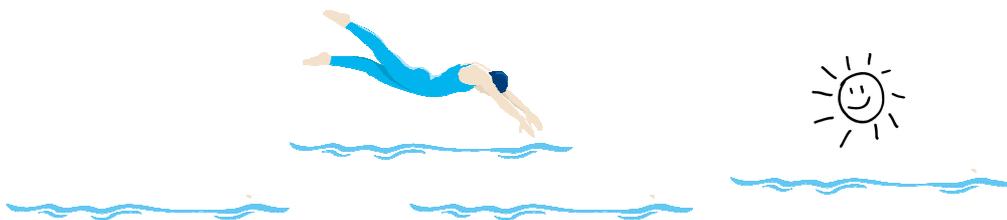
1. 今年、高野山は開創 1200 周年を迎え、様々な記念行事で空前の盛り上がりを見せています。高野山の開創と言えば、高野山真言宗の開祖である空海が、遣唐使留学僧として唐の長安（現中国西安市）に入り真言密教を学んだことが広く知られています。

さて、中国古代の諸王朝の都となったこの西安市は、世界的に有名な歴史的観光地であり、世界遺産がたくさんあります。では、下記の選択肢から西安市にある世界遺産を探してみてください（答えは4つ）。

- ①万里の長城 ②大雁塔 ③兵馬俑 ④孔子廟
⑤敦煌莫高窟 ⑥秦始皇帝陵 ⑦漢長安城遺跡

2. 2014 年 6 月時点でユネスコ世界遺産に登録されている世界遺産の数で世界ランキングベスト 4 の国は下記の通りです。数の多い順に並べ替えて下さい。

- ①スペイン ②ドイツ、フランス ③中国 ④イタリア



和歌山県文化国際課ホームページから読者登録ができます

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/O22100/kokusaikouryu/mailmagazine/mailmagazine.html>

国際交流や海外にご興味をお持ちのご友人やお知り合いの方が

いらっしゃいましたら、

ぜひ当メルマガをご紹介ください。

外国文化に興味を持たれている方にお勧めの映画を国際交流員が紹介します。
今回は英語担当のおすすめです。



バンクーバーの朝日（2014年）日本映画

1900年代初頭、多くの日本人が新天地を夢見て、遙か遠くカナダへと海を渡った。しかし、そこで彼らを待ち受けていたのは差別、過酷な肉体労働、貧困といった厳しい現実だった。

そんな中、日本人街に一つの野球チームが生まれる。

チームの名は“バンクーバー朝日”

夢も希望も持てなかった激動の時代。

やがてチームは人々にとって、一条の光となっていく。

彼らは何を信じ、何を求めて走り続けたのか。

歴史の波間に埋もれていた“真実の物語”が今、ここに甦る。



出典：映画「バンクーバーの朝日」公式サイト <<http://www.vancouver-asahi.jp/index.html>>

昨年、妻夫木聡などの人気俳優が多く出演することからも大きな話題となり、ご覧になられた方も多いのではないのでしょうか。戦前カナダに実在した伝説の野球チーム“バンクーバー朝日”の栄光と奇跡、その後を中心に描かれた実話に基づく映画です。逆境を乗り越えながら、日本人としての誇りを胸に、世界に立ち向かう姿には、感銘を受けました。

今回、文化国際課だよりでもお伝えしているとおり、在外和歌山県人会周年式典出席のため、知事をはじめとする訪問団は、まさにこの物語の地、カナダ・バンクーバーを訪れました。訪問した日系移民の歴史を紹介する日系センターには、“バンクーバーの朝日”に関する展示も含まれていたそうです。実は、チームにはかつて和歌山県出身者も在籍していたり、映画とは少し時代が違いますが、

チームの日本遠征の際には和歌山県でも試合を行っていたりと、和歌山県とも深く関わっているのです。



このような繋がりを知って映画を見ると、先人達の姿により深く感情移入ができるかもしれません。世界を舞台に活躍したいとお思いの読者のみなさま、ぜひ、ご覧ください。

■ 英語ABCコラム⑧ ■

今年も梅雨の時期になりましたので、今回は rain（雨）を使ったフレーズを紹介したいと思います。

皆さんは、“rain check”という言葉を知っていますか？ “rain check”とは、スポーツやコンサートなどの屋外イベントが雨天で中止や延期になったときに観客に渡されるチケットのことで、これがあると代わりに別の開催日に入場できます。

この意味が転じて、人からの誘いに都合が悪くて応じられないときの日常会話表現として、広く使われるようになりました。たとえば、以下のようなシチュエーションで使われます。

【例1】

A: How about going out for a drink tonight?

(今晚、飲みに行きませんか?)

B: Sorry, I have to work overtime today. Can I take a rain check?

(すみません、今日は残業なのです。また今度一緒しましょう。)



【例2】

A: Thank you for inviting me to your party. I would really like to join, but I have an exam on that day...

(パーティーのお誘いありがとうございます。ぜひ行きたいのですが、その日は試験があつて…。)

B: Then, I'll give you a rain check.

(では、また次の機会に誘いますね。)

このように、「今回はダメだけど、次回はきっと行きます」というポジティブなニュアンスが伝わり、断るほうも断られるほうも気まずい気持ちになりにくい表現なので、覚えておくと便利です！



■ 和歌山県職員による「異文化体験記」 ■

皆さん、こんにちは。文化国際課の梶本と申します。私は去年の9月から中国・山東省に派遣されており、現在、山東省済南市にある山東師範大学にて語学研修を受けています。

6月も末に差し掛かり、夏の足音が聞こえてきたところですが、和歌山県の6月と言えばやっぱり梅。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、和歌山県の梅は日本一の生産量を誇り、全国生産量の60%以上を占めています。そんな和歌山が誇る梅ですが、実は原産は中国で、日本へは奈良時代に伝わったといわれています。中国の梅も日本と同じく四川省、福建省、広東省、湖南省、浙江省など比較的温暖な地域で多く生産されており、主な収穫期は4月から5月となっています。

また、私が現在研修中である山東師範大学の図書館の中に「ふれあい広場」という場所があり、ここにはたくさんの日本の書籍が配架されているとともに、定期的に現地日本人と日本語を学ぶ中国人学生の交流活動「日本語コーナー」が行われています。昨年10月、和歌山県と山東省の友好提携30周年を記念して、このふれあい広場内に「和歌山コーナー」が開設され、和歌山関連書籍を配架するとともに、派遣職員が和歌山県をテーマとした交流活動を定期的に行っています。先月5月23日（土）にも、この活動の一つとして和歌山県の観光資源と梅文化の紹介及び梅酒作り体験を実施しました。

和歌山県の観光資源の紹介で特に皆さん関心を寄せてくださったのが和歌山電鉄貴志川駅のたま駅長。参加者の中にはご家族でたま駅長目当てに和歌山を訪れたことがあるという方もいらっしゃいました。その方に感想をお伺いしたところ、「たま駅長がかわいくて2日続けて貴志駅に見に行きました。ただ、たま駅長に会って季節の美味しい桃を食べたこともいい思い出だけど、和歌山での一番の思い出は和歌山の方の暖かさに触れたこと。和歌山駅近くのコンビニで子供が付属のミニカー目当てに缶コーヒーを買ったとき、缶コーヒーを買った別のお客さんが自分のミニカーを子供に譲ってくれました。子供も大喜びでした。」とのエピソードを語ってくださいました。



また、山東師範大学と和歌山大学は交換留学制度の交流協定を締結しているため和歌山大学への留学を希望する学生の方も多いため、和歌山大学周辺の住環境についても簡単に紹介を行いました。以前和歌山大学へ留学したことがある大学院生の方からは、「大学の周辺に南海本線 和歌山大学前駅が開業し、イオンモールも出店して、これから留学する学生が羨ましい。」との声を聞きました。発表を聞いてくださった学生さんのうち一人でも多くの学生の方が和歌山への留学に興味を持っていていただければ嬉しいです。

皆さんは梅酒を作られたことはありますか？私は実家で梅を栽培しているということもあり、小さいころは毎年祖母が梅干を漬けて、母親が梅ジュースを作ってくれました。また、大学生の時は自分で梅酒を作り、漬けあがった頃に友人を自宅に招いておしゃべりをしながらよく一緒に飲んだのを覚えています。梅の産地が南方ということもあるのか、山東省ではこの季節でもスーパーに青梅は並ばず、梅干はもちろん梅酒を飲む習慣がほとんどありません。梅酒作り体験の参加者は日本語を勉強されている学生さんがほとんどなので、梅干や梅酒という言葉聞いたことがあるという人はたくさんいましたが、実際に食べたり飲んだりしたことがある参加者はほとんどいませんでした。





梅酒作りはとっても簡単。準備する物は、

- ・お酒（日本ではホワイトリカーが主流ですが、今回はせっかくなので中国の白酒）
- ・青梅（今回使用したのは中国浙江省（せっこうしょう）産）
- ・氷砂糖
- ・瓶

の4つ。梅をきれいに洗ったあと梅のヘタを取り、瓶の中に氷砂糖と一緒に詰めて、最後にお酒を注ぐだけです。

梅に馴染みがないみなさんどんな感想を抱かれるのか少し不安でしたが、参加してくださった学生さんからは、「思ったよりも簡単。おもしろい!」「漬けた梅がすごくきれい。」「初めて自分の手で日本の食文化に触れた。飲むのがとても楽しみ。」「和歌山に行ってみたくなった!」など嬉しう反応をたくさん頂きました。最後に自分たちで作った梅酒に自分の名前を書いて出来上がり。秋ごろに参加してくださった皆さんと一緒に漬けた梅酒を飲むのが今から非常に楽しみです。是非和歌山の皆さんも自分の手で和歌山の誇る梅文化に触れてみてください!



梶本堅史郎（平成26年9月より中国山東省派遣・大学にて語学研修中）

先日、国内外の多くの方々に愛された和歌山電鐵貴志川線貴志駅のたま駅長（メス、三毛猫、16歳）が天に召されたというニュースが流れ、驚いた方も多かったのではないのでしょうか。癒しの存在として親しまれ、また路線や地域再建の原動力となり、メディアでもその活躍ぶりが度々取り上げられたたま駅長。天国でゆっくり休んで欲しいと思います。



また秋に
お会いしましょう！

クイズの回答

1. ②大雁塔 ③兵馬俑 ⑥秦始皇帝陵 ⑦漢長安城遺跡

※①万里の長城（北京市） ④孔子廟（山東省曲阜市） ⑤敦煌莫高窟（甘肅省敦煌市）

2. ①イタリア（50） ②中国（47） ③スペイン（44） ④ドイツ、フランス（39）

※日本は18件で13位にランクインしています。